

「物価高倒産」 2025 年度上半期は 26 件、 「小売」は前期比増加

累計では 212 件発生、業種別最多は「製造」

東海 3 県・「物価高倒産」動向調査(2025 年度上半期)



本件照会先

猿渡 映一(調査担当)
帝国データバンク
名古屋支店 情報部
052-561-4846(直通)

発表日

2025/10/10

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

SUMMARY

東海 3 県(愛知・岐阜・三重)で、燃料や原材料などの仕入価格上昇により収益が維持できず倒産した「物価高倒産」は、2025 年度上半期(4 月～9 月)に 26 件発生した。前年同期(30 件)、前期(31 件)をそれぞれ下回ったものの、高止まりが続いている。業種別では、2025 年度上半期は「建設」が最多だったが、「小売」が唯一、前期比増加となった。

※株式会社帝国データバンク名古屋支店は、東海 3 県(愛知・岐阜・三重)における燃料や原材料などの仕入価格上昇により収益が維持できず倒産した「物価高倒産」の発生状況について調査・分析を行った。

集計対象:負債 1000 万円以上・法的整理による倒産(2025 年 9 月末時点における判明ベース)

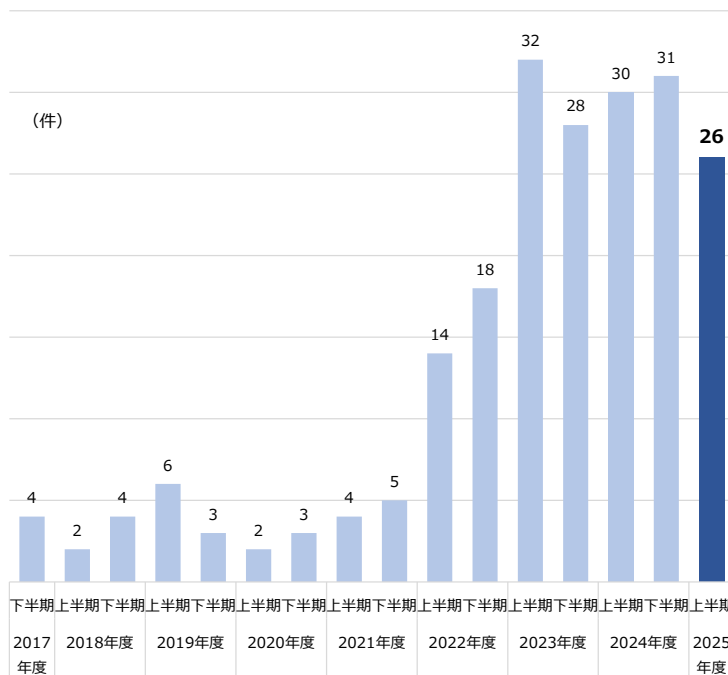
「物価高倒産」、2025 年度上半期に 26 件発生

燃料や原材料などの仕入価格上昇により収益が維持できず倒産した「物価高倒産」（法的整理、負債 1000 万円以上）は、東海 3 県（愛知・岐阜・三重）で 2025 年度上半期（4 月～9 月）に 26 件発生した。前年同期（30 件）からは 4 件、前期（2024 年度下半期、31 件）から 5 件減少したが、2023 年度以降の高止まり傾向は続いている。

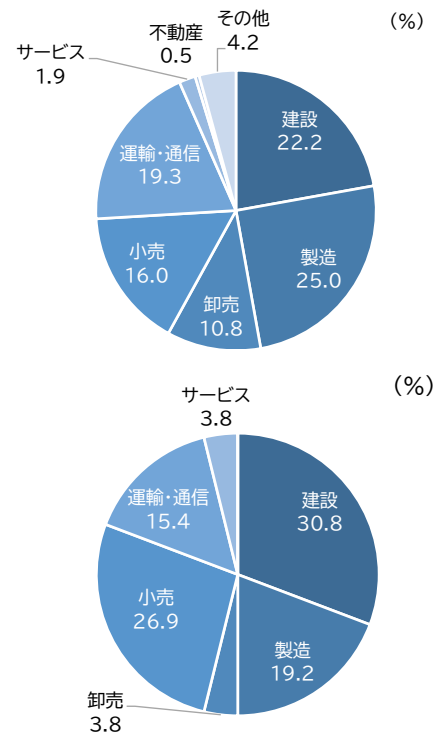
業種別では、統計開始以降の累計では「製造」「建設」「運輸・倉庫」に次いで 4 番目の「小売」が、2025 年度上半期は唯一、前期から増加した。「飲食店」や「飲食料品小売」が含まれ、食材費や光熱費の高騰が収益を圧迫し、「物価高倒産」増加の要因となっているとみられる。

「物価高倒産」の動向

「物価高倒産」の件数推移（年度半期ごと）



「物価高倒産」の業種別構成比
（上段：累計 下段：2025 年度上半期）



参考：東海 3 県県別の価格転嫁の実態

「多少なりとも価格転嫁できている」企業の割合の推移

	2023年7月	2024年2月	2024年7月	2025年2月	2025年7月	前回比
愛知	74.0	73.9	78.8	77.2	72.7	▲ 4.5
岐阜	82.7	75.2	81.4	79.6	78.3	▲ 1.3
三重	76.6	78.7	80.3	81.7	68.2	▲ 13.5

「価格転嫁率」（コスト100円上昇に対して販売価格に反映できた割合）の推移

	2023年7月	2024年2月	2024年7月	2025年2月	2025年7月	前回比
愛知	43.0	41.1	42.9	41.7	39.5	▲ 2.2
岐阜	48.8	43.0	45.9	40.2	40.9	0.7
三重	47.7	46.2	50.1	46.3	41.3	▲ 5.0

帝国データバンク：「価格転嫁に関する企業の実態調査（2025年7月）」より